Ⅲ　環境教育活動の実施

１　環境教育の手法

赤谷センターが実施する環境教育の手法としては、主に以下の内容のものがあり、学校等教育関係者の要望を聞きつつ、適宜組み合わせて実施しています。

項　　目	概　　要
野生動物の行動調査の実習	動物の体温を感知してシャッターが切れるカメラ（センサーカメラ）で撮影した写真を見せながら、野生動物の行動、森林と野生動物のとの関わりを解説しています。センサーカメラの使用方法を教えた後に、１班につき１台のセンサーカメラを野生動物が現れそうだと考えたところへ設置してもらいます。 後日、撮影したフィルムを現像し、コメントと共に学校へ郵送しています。
自然観察路等を活用した自然散策	「いきもの村」に整備された約1.3kmの自然観察路や小出俣林道を活用した自然観察を実施します。 歩きながら、樹木、植物、野生動物の痕跡等について見るだけでなく、臭いを嗅いだり、手で触るなどの五感を使って自然を学んでもらいます。
観察器具を使用した野鳥観察	観察器具（双眼鏡、フィールドスコープ）を使用した野鳥観察です。「いきもの村」では、シジュウカラ、ヒヨドリ等の小鳥から、クマタカ、オオタカ等の猛禽類まで様々な野鳥を観察することができます。
赤谷プロジェクトの説明	赤谷プロジェクトの様々な調査研究等の取組みについて知ってもらうためプロジェクターによる映像等を活用してプロジェクトの紹介をしています。
その他	「いきもの村」周辺の散策をしながら植物の説明をした後、しおり（押し葉）作りを実施します。

２　環境教育の実施状況

（１）新治小学校六年生

10月5日に旧三国街道で新治小学校6年生（57名）の遠足が行われました。当日は、あいにく雨の日になってしまいましたが、地域協議会の方の協力を得ながら街道沿いの森林や動物のフィールドサイン、街道にまつわる歴史の説明などを行いました。また、昼食をとった場所の周辺で4つのグループに分かれてセンサーカメラを設置しました。

新治小学校６年生の遠足の様子

センサーカメラ設置の説明

11月2日にセンサーカメラを回収したところ、ニホンリス、ホンドギツネ、ニホンイノシシ、ホンドテンなど42枚撮影されていました。中には、国の天然記念物に指定されているヤマネなどもありました。

12月9日に、撮影された写真を教材に新治小学校で事後学習を行いました。生徒の皆さんはスクリーンに映し出される動物の姿を興味深そうに見ていました

センサーカメラに写ったトラツグミ

新治小学校での事後学習の様子

（２）新治小学校五年生

新治小学校５年生がキャンプ活動を体験する「レッツ！サマースクール」が７月21日～22日にかけて「高原千葉村」で実施され、赤谷プロジェクト地域協議会と赤谷センターが環境教育の協力を行いました。

児童62名を5班に分け、キャンプ場内に設置した５つのテーマ（①自然物の利用、②森林の仕組み、③アリジゴク、④キノコの働き、⑤森に生きる動物）について、生徒と一緒に自然観察を行いました。

「サマースクール」での環境教育

ホンドリスの食痕を観察

（３）沼田北小学校五年生

沼田北小学校は例年、「高原千葉村」において森林教室を実施していましたが､昨年度から地域協議会と赤谷センターが協力して環境教育を行っています。

今年度は10月4日に75名の児童を５班に分け、キャンプ場内に設置した５つのテーマ（①自然物の利用、②森林の仕組み、③アリジゴク、④キノコの働き、⑤森に生きる動物）について、生徒と一緒に自然観察を行いました。

森林のしくみについて説明

（４）その他

湘南学園中学校高等学校

８月１日から２日にかけて湘南学園中学校高等学校理科研究部の生徒に対し、地域協議会及び自然保護協会と合同で環境教育を実施しました。

内容は、旧三国街道沿いで自然観察をしながら三国山山頂への登山、センサーカメラの設置実習などでした。

雨天の中での三国山登山

センサーカメラに写ったホンドタヌキ

３　赤谷の森自然散策

主に群馬県内の方を対象として、赤谷センターの主催による「赤谷の森自然散策」を、2011国際森林年関連事業として、秋期（10月）及び冬期（2月）に行いました。（春期(5月)にも予定していましたが悪天候のため中止になりました。）

秋期は、紅葉の始まりだした小出俣林道を、森林の働きや仕組み、動植物について 学びながら自然散策を行いました。

自然散策の様子

大カツラの前で集合写真

冬期は、午前中は猿ヶ京地区多目的集会施設で約30種類の広葉樹について、冬芽の特徴から図鑑やルーペを使いながら樹種を見分ける方法を学びました。午後は、赤谷プロジェクトの環境教育の拠点である「いきもの村」に移動し、スノーシューを履いて雪上にある動物の足跡を観察しました。当日は天候にも

恵まれいきもの村周辺には、ノウサギやニホンイノシシのなどの足跡が点々と続いており、参加者の皆様は興味深く観察していました。

冬芽の観察

動物の足跡観察

4　放送大学

赤谷センターでは、平成20年度から、放送大学の群馬学習センターの依頼を受けて、先生と生徒が直接接して行う「面接授業」の実施に協力しています。

今年度は、５月14日から15日にかけて15名の学生を対象に「面接授業」を行いました。

1日目は、沼田市立図書館視聴覚室において、赤谷センター及び日本自然保護協会から、赤谷プロジェクトの概要や、歴史的背景など様々な視点から講義を行いました。

2日目は、小出俣エリアで赤谷プロジェクト植生ワーキンググループ委員の長島成和氏が講師となり、自然を観察を交えながら森林土壌と植生の関係や生物多様性について説明を行いました。

平成24年度についても、放送大学の要望に応じて協力することを検討しています。

赤谷センター所長による講義風景

森林土壌についての講義風景